

# 輝くねむろ

We Love Nemuro!



もっと領土問題を知ってもらいたい

## 賞状

多田里奈

あなたは「北方領土の日」住民大会弁論発表の起優秀な弁論を行って、問題への関心を高め、認識を深めることに努めて、これを賞します。

平成24年二月七日

川端

「もっと、私たち若い世代にも、領土問題を知ってもらいたいですね。」と話すのは、2月7日「北方領土の日」根室管内住民大会で行われた管内の中学生を対象にした弁論大会で、内閣府北方対策本部長賞を受賞した多田里奈さん。弁論では「返還」と題し日本が一つになって北方領土に関心を持って、返還運動に取り組まなければならないと力強く訴えました。

弁論との出会いは、中学1年生のときに、担任の先生から市の少年弁論大会への参加を勧められたことでした。以来、領土問題に関心を持ち、

「3年間の集大成として、返還運動への思いを伝えたい。本部長賞を受賞できて、とてもうれしいです。」と、大会当日を振り返りながら顔をほころばせる多田さん。

住民大会のシニプレヒコールのように、これからも力強く領土問題を訴えていきたいと、語る多田さんの瞳は四島が返還されるその日を、真っ直ぐに見つめていました。

ビザなし交流や北方少年交流事業へ参加し、滋賀県や首相を訪問して直接領土問題を訴えるなど、中学生生活ではなかなか経験できない貴重な体験ができたと話します。



管内中学生10人が領土問題への熱い思いを訴えた弁論大会

### profile だ だ り な さん

多田里奈さん  
柏陵中学校3年生

1996年旭川市生まれ。2003年小学校入学とともに根室へ移住。3年間根室市少年弁論大会に出場し、連続入賞を果たす。部活動は女子バレー部に所属。習い事の三味線を趣味とする。

## 図書館からの おくりもの

専任主査 松永伊知子  
図書館 TEL (23) 5974番



一冊一冊照合し、あるべき場所へ

### 年に一度の「蔵書点検」

図書館の棚で、貸し出されてはいないのに、あるべき所にお目当ての本が見当たらず、イライラされたことがありますか。常に気を付けて本を棚に戻していますが、時として、迷子になる場合もあります。

皆さんが快適に図書館の本や資料を利用できる体制維持と、根室市民の財産として、すべての資料確認と管理状況のチェックが、年に一度必要で、店舗などでの棚卸しと同様の作業が、図書館の「蔵書点検」です。

蔵書点検は、所蔵しているすべての図書や他資料を一点ずつスキャンし、データ照合します。その際に、不明になっている図書の確認や、棚違いの図書を元の配置に戻す作業などが行われます。そのため休館させていただき、職員全員で効率的な工夫をしながら根気よく行っていますが、時間を要する作業のため、日数がかかってしまいます。

今年度は、すでに図書館カレンダーなどでお知らせしていますが、3月25日(日)〜31日(出)に行います。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

また、返却忘れの本がありましたら、この機会にお返しください。